

地理情報システム学会 2023 年度東北支部研究交流会に登壇しました (2024/3/13)

テーマ：GIS、人流データ解析

会場：東北大学 青葉山キャンパス人間・環境系 教育研究棟 土木大会議室 (105 号室)

2024 年 3 月 13 日 (水)、東北大学青葉山キャンパスで地理情報システム学会 (GIS 学会) 2023 年度東北支部研究交流会が開催されました。GIS 学会の活動は、GIS 技術に関わる様々な理論的・応用的研究の発展を目的としています。東北支部では年 1 回の交流会を通じて、GIS を活用した研究成果について発表が行われます。

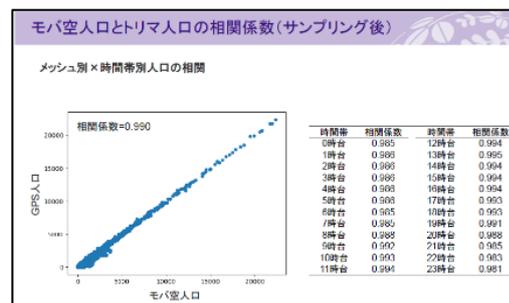
災害レジリエンス共創センターからは、永田彰平助教と片谷信治クロスアポイントメント特任准教授、桑原直道クロスアポイントメント特任准教授が登壇しました。永田助教は「GPS データとモバイル空間統計に基づく合成人流データの構築」と題して、信頼性の高いモバイル空間統計によるエリアレベルの人口動態と、GPS データによる個人レベルの詳細な移動パターンを組み合わせる手法について発表しました。この手法は、災害マネジメントにおける暴露人口評価や避難シミュレーションに活用可能な、精緻で信頼性の高い人流データセットの構築を可能にします。会場では、モバイル空間統計の正確性が低い年齢層、あるいは過疎地などで信頼性を確保する方法や、合成データの妥当性の検証方法などに関する議論が盛り上がりました。

片谷クロスアポイントメント特任准教授と桑原クロスアポイントメント特任准教授は、「位置と関連した様々な Web サービスの ArcGIS での利用方法」と題して、GIS の活用不可欠となる多様なデータや有効な解析手法について紹介しました。さらに、現在開発中である、モバイル空間統計の閲覧・解析用の Web アプリを紹介し、時系列や地域に応じた人口分布のマッピングのデモンストレーションでは参加者の高い関心を集めました。

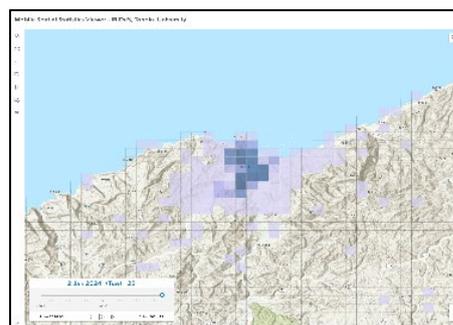
交流会では、これらの発表に対する質疑応答や意見交換が行われ、GIS を活用した研究や実務における新たな展開について熱心に議論されました。GIS 学会の活動は、地理情報システムの進歩と社会への貢献に向けてさらなる成果を生み出しており、災害レジリエンス共創センターもこの活動に積極的に参加し、GIS を活用した災害分析や復興支援へ取り組んでまいります。



永田助教の発表



片谷・桑原クロスアポイントメント
特任准教授の発表



Web アプリのデモ画面

文責：永田彰平・武田百合子 (災害レジリエンス共創センター)